

ハンセン病問題に関するシンポジウムの開催についてお知らせします。

事 務 連 絡  
令和 8 年 2 月 6 日

各都道府県教育委員会指導事務主管課  
各指定都市教育委員会指導事務主管課  
各都道府県私立学校事務主管部課  
各 国 公 立 大 学 法 人 担 当 課  
大学を設置する各地方公共団体担当課  
各文部科学大臣所轄学校法人担当課  
大学を設置する各学校設置会社担当課  
構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定  
を受けた各地方公共団体の学校事務担当課  
附属学校を置く各国公立大学法人の附属学校事務担当課  
各 国 公 立 高 等 専 門 学 校 担 当 課  
各都道府県教育委員会専修学校主管課  
専修学校を置く各国立大学法人担当課  
各 都 道 府 県 専 修 学 校 主 管 課  
厚生労働省医政局医療経営支援課  
厚生労働省社会・援護局障害保健福祉部企画課

御中

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課  
文部科学省初等中等教育局児童生徒課

「第 25 回ハンセン病問題に関するシンポジウム（人権フォーラム 2026）」  
の開催について（周知）

日頃より人権教育の推進に御尽力賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、令和 8 年 2 月 23 日（月）に、「第 25 回ハンセン病問題に関するシンポジウム（人権フォーラム 2026）」が開催されますので御案内いたします。

本シンポジウムは、ハンセン病に対する正しい知識の普及啓発を図ることで、ハンセン病に係る偏見・差別を解消し、ハンセン病患者・元患者及びその御家族の名誉回復を図ることを目的としており、文部科学省も厚生労働省、法務省等とともに主催するものです。

プログラムは、高校生によるハンセン病回復者等からの聞き書きの発表や当事者の方からのお話等で構成されており、ハンセン病問題について児童生徒等も分かりやすく学べる内容となっております。

については、本シンポジウムについて、内容を御確認いただき、各都道府県教育委員会におかれては域内の市（指定都市を除く。）町村教育委員会、所管の学校（専修学校及び各種学校を含む。以下同じ。）及び管内の社会教育施設に対して、各指

定都市教育委員会におかれては所管の学校及び管内の社会教育施設に対して、各都道府県私立学校主管部課及び各都道府県専修学校主管課におかれては所轄の学校及び学校法人等に対して、国公立大学法人担当課、大学を設置する各地方公共団体担当課、各文部科学大臣所轄学校法人担当課及び大学を設置する各学校設置会社担当課におかれてはその設置する学校に対して、構造改革特別区域法第 12 条第 1 項の認定を受けた各地方公共団体の担当課におかれては所轄の学校設置会社に対して、附属学校を置く各国公立大学法人の附属学校事務担当課におかれてはその管下の学校に対して、各国公私立高等専門学校担当課におかれては学内に対して、厚生労働省におかれては所管の専修学校に対して、本件について御周知いただきますとともに、本シンポジウムの視聴やアンケートへの協力についても御案内いただきますよう、よろしくお願いいたします。

なお、学校に対する周知の範囲及び方法については、学校における働き方改革の観点から、他の案件とまとめた周知や、クラウドを活用した文書の共有を行うなど、学校の事務負担軽減にご配慮いただくようお願い申し上げます。

シンポジウムの内容に係るお問合せは、チラシ中の「お問い合わせ」先に直接御連絡をいただきますよう、お願いします。

**【担当】**

＜全体、社会教育における人権教育について＞

総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課  
共生社会学習企画係 電話：03-5253-4111（内線 3276）

＜学校（初等中等教育段階）における人権教育について＞

初等中等教育局児童生徒課指導係

電話：03-5253-4111（内線 3297）

第25回 人権フォーラム2026

# ハンセン病問題に関する シンポジウム

当シンポジウムは、ハンセン病に対する正しい理解を深め、  
偏見や差別がなくすべての人が「ともに生きる」、  
より良い社会づくりに貢献することを目的としています。

2026年

2月23日(月・祝)

13:00～16:00  
(開場12:30)



会場：せんだいメディアテーク  
宮城県仙台市青葉区春日町2-1  
7階スタジオシアター

「会場とライブ配信」の同時開催

参加無料



本シンポジウムの参加者には、参加の記録として  
活用できる「オープンバッジ(参加証明・学習記  
録)」を、事務局である(公財)笹川保健財団から  
希望者に発行します。



主催：厚生労働省、法務省、文部科学省、全国人権擁護委員連合会

共催：全国ハンセン病療養所入所者協議会、ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会、ハンセン病家族訴訟原告団、ハンセン病違憲国賠訴訟全国弁護団連絡会

後援：宮城県、仙台市役所、日本皮膚科学会、日本ハンセン病学会、ハンセン病市民学会





# 第25回 ハンセン病問題に 関するシンポジウム

## プログラム

13:00~13:05

主催あいさつ 厚生労働省

13:05~13:15

開会のあいさつ

ハンセン病違憲国賠訴訟全国原告団協議会会長  
豎山 勲

13:15~13:45

宮城県仙台第二高等学校

「二度と繰り返さないために～共生の未来へ～」

2年 上松 咲愛 小野 杏菜 工藤 美来

13:45~14:15

学校法人開智学園

「内から見たハンセン病問題

～ラベルじゃなくて、わたしを見て～」

1年 五十嵐 優華 友利航 エンゾ 呂 韓暢

14:15~14:45

学校法人開智学園

「『知る』から『伝える』へ」

2年 佐藤 風紗 中村 亨也

14:45~14:55

休憩 10分

14:55~15:10

学校法人開智学園

「知識から行動へ：ハンセン病問題に学校教育として  
取り組む意義と成果」

国語科教諭 田中 佳太

15:10~15:25

青森大学

『デジタルアーカイブによる社会的記憶の継承  
ー過去から未来へ』

ソフトウェア情報学部2年 渡部 遼

15:25~15:50

国立療養所松丘保養園

『松丘保養園入所者から』

話し手

国立療養所松丘保養園入所者自治会会長 佐藤 勝

聞き手

国立療養所松丘保養園社会交流会館学芸員 澤田 大介

15:50~16:00

閉会のあいさつ

全国ハンセン病療養所入所者協議会会長 屋 猛司

## お申し込み

シンポジウムのご参加(会場・ライブ配信)は  
QRコードよりお申し込みください。



本シンポジウムでは、会場参加者およびオンライン参加者を対象に、参加や学びの記録として活用できる「オープンバッジ(参加証明・学習記録)」を、事務局である公益財団法人笹川保健財団がアンケート回答後に希望者へ発行します。取得したバッジはオンラインで保存・共有でき、個人の学びの整理や記録にご活用いただけます。

## お問い合わせ

国立ハンセン病資料館内 ハンセン病シンポジウム事務局

〒189-0002 東京都東村山市青葉町 4-1-13

Tel: 042-396-2909 [受付時間: 火曜～日曜 9:00～17:00] E-mail: info@nhdm.jp